

2021/5/24-2

オマケの英語教室

(a と the)

a が不定冠詞で the が定冠詞。

高校受験を前にして、中学の英語の授業のおさらいで、改めてそう習いました。

しかし、何度説明を聞いても、その使い分け方がはっきりとは分かりませんでした。

自分はどちらかという、実践的なタイプの人間なので、試験勉強は試験勉強として、それとは別に

「相手を前に長考が許されるのは、囲碁将棋だけ。外人を前にして、ソナなことをしたらスルーされてしまう。もっと上手い覚え方は無いものか？」

と思いました。

それから数年たった大学時代の TV コマーシャルで、聖子ちゃんがやっていた

「ひーとびとの、hitbit (ヒットビット)」というゲーム対応 TV のコマーシャルの後に

「it`s a Sony」

というロゴが流れる CM のナレーションを耳にして

「あっ、そういうことか」

と合点がいきました。

「a は、リズム取りの語呂合わせ用かぁ」

定冠詞 the が「それしかない」とか「以前話の中に出てきて」特定出来るものを指す、

即ち「あの」とか「例の」と訳せることは分かっておりました。

又、定冠詞も不定冠詞も着かない単なる複数形の場合は「というものは」とか「一般的には」と訳せば良いのも、何となく分かってきていました。

ところが、この不定冠詞の a だけは、どう訳していいのか、どう使い分ければいいのか分からなかったのですが、この

「it`s a Sony」

を耳にして「リズム取りの音合わせの為にある」だけで、特に深い意味があるわけではなさそう、と思ったのです。

つまり

「イツツ ソニー」じゃ語呂が悪いので a を挟んで「イツツァ ソニー」

で、上手く舌が回り、耳にも馴染みやすい。そのための a が不定冠詞。

何故なら語呂合わせという「たまたまの偶然」による出現で付いたり付かなかったりするから「不定」冠詞。

英文法上、正しいかどうかは分かりませんが、今のところこの解釈で、外国人との会話は、大過なく過ごせております。